

8.4 開放型病床利用率

■解説

開放型病床とは、かかりつけ医(開放型病床登録医)と当院の医師とが共同して、通院から入院、退院までの一貫した診療を行い、継続的に高度の医療、検査、手術などを受けていただくための専用の病床です。

小松市民病院には、平成元年から30床設置されています。

算式

【開放型病床利用率】(分子／分母) × 100

分子: 在院患者延数

分母: 30床 × 当月の日数

単位

人

期間

年間

	開放型病床利用率
令和2年度	52.8%
令和3年度	36.9%
令和4年度	23.6%

